

三月読み取りおけいこ⑦（高）

名前（ ）

三月十一日は東日本大震災が起きた日です。

二〇一一年三月十一日午後二時四十六分のことでした。

宮城県沖約百三十キロメートルの海底を震源としてマグニチュード九の地震がおきました。これは日本で過去に観測された最大の規模の地震です。南北五百キロメートル・東西二百キロメートルの広い範囲がゆれました。そして、高さ十メートルをこす津波^{つなみ}が発生し、四十キロメートル以上も川を逆流^{ぎやくりゅう}する場所も出てきて、家も人も飲み込まれたのです。

それだけでも悲惨^{ひさん}なのに、原子力発電所では地震と津波によりすべての電源を失い、原子炉^{げんしろ}を冷やすことができず大量の放射性物質^{ほうしゃせいぶっしつ}がもれだす事故をおこしてしまったのです。

二〇一九年十二月十日の時点で死者・行方不明者は一万八千四百二十八人とされています。そして、今でも仮設住宅で暮らしておられる方や家族をさがしておられる方がいます。この悲劇^{ひげき}を私たちは決して忘れてはいけません。なぜなら、同じようなことはどこでもおこりうることだからです。一九九五年一月一七日には阪神淡路大震災^{はんしんあわじだいしんさい}が起きて、兵庫県中心に大きな被害がでました。この時は京都でも震度五を記録しました。

過去には、例えば慶長^{けいちょう}の大地震では豊臣秀吉の伏見城がくずれ、四百人ほど的人が城内で死んでいます。京都も、いつなんどき大地震におそわれるかわからないのです。若狭湾^{わかさわん}には原子力発電所もあり、私たちが使う電気もそこにたよる部分が大きいです。備え、考えることが大切です。音読サイン→

①何の話でしょう？

②東日本大震災は今から何年前におこったのですか？

③地震の規模を表す言葉をぬき出しましょう。

④一月十七日におこつたのは何ですか？

⑤その場所でのゆれの度合いを表す言葉は？

⑥海底のゆれが海水をゆらして陸地を襲う現象（ ）

⑦家をなくした人がかりに住むための家をなんというのか書きだしましょう？

⑧電気を作る所をなんというのですか？

⑨あつているものに○をつけましょう。（ ）東北は遠いから知らなくてもいい。

（ ）織田信長の伏見城は地震でくずれた。

（ ）京都大震災もおこるかもしれない。

⑩上の話の感想を五行でまとめましょう。

できばえは？

